

第103回 全国高校野球 青森大会
第3日



野辺西2度打者一巡

弘前、鈴木の本塁打実らず

【評】野辺西が2度、打者一巡の猛攻を見せるなど打撃力で弘前を圧倒した。三回、四球を挟む5連打などで6得点。九回にも佐々木の三塁打など長短6安打を集めて6点を奪った。無失策の堅守に支えられ、立花、塩倉、横濱による3投手の継投も決まった。

【野辺西—弘前】9回表、野辺西1死二、三塁、大平の三ゴロが野選となる間に三塁から塩倉⑥が生還し10—3とリード。捕手・山下―ダイシンベースボールスタジアム

弘前は先発山下、2番手熊澤がいずれも大量失点。打線は四回、鈴木が本塁打を放ったものの10残塁とつながらなかった。

◆初回に三塁打を放ち先制の本塁を踏んだ野辺地西主将の大平(3年)今年には振り込んできたので、打力では負けない。チームの課題は、まとまりがないところ。劣勢になって焦ってしまうことがあるので、切り替えられるようにしないといけない。

◆5打席全てで出塁した弘前の主将遠藤(3年)昨年の3年生のために全力でプレーした。個人的に結果が出てうれしいが、チームとしては相手の打撃に苦しめられた。中盤は良い流れもあったけれど、最終的に点差が離れてしまい、悔しい。